

留萌高 岩崎さん、成田さん 開発商品と地域PRへ 全国高校フードG P本選に出場

て意気込みを新たにしている。

高校生が地域の食材や食文化を活用して開発した商品を中心に募集し、同グランプリは、伊藤忠食品(株)主催で、多くの食品会社や飲料メーカーが協賛、文部科学省や農林水産省、全国高校長協会などが後援している。

13回目の今回は過去最多の60校169商品の応募があり、予選審査を経た6校が選出された。道内からは留萌高が唯一の本選出場を決めた。

【留萌発】留萌高校(増田康広校長)情報ビジネス科3年の岩崎美翔さんと成田葵依さんが、11月1日に東京で開かれる第13回全国高校フードグランプリの本選に出場する。全国6校のうちの1校に選ばれ、留萌の数の子とニシンを使った開発商品の上位入賞に向

ける。同校の商品は「カズチー親子ふりかけ」。地元の井原水産(株)の数の子とチーズを組み合わせたおつまみ「カズチー」にニシン南蛮みそを混ぜたウェットタイプのふりかけで、昨年9月から販売している。

岩崎さんと成田さんは課題研究の授業で、前年度の3年生の取組を引き継いで研究を深め、7月に同グランプリに応募。8月に本選出場の通知を受けた岩崎さんは「留萌を有名にした

岩崎さんと成田さんは課題研究の授業で、前年度の3年生の取組を引き継いで研究を深め、7月に同グランプリに応募。8月に本選出場の通知を受けた岩崎さんは「留萌を有名にした

本選は11月1日に東京で開かれ、生徒たちがプレゼンテーションと商品の試食販売を行い、審査員が審査する。

また、2人は高校生がオリジナル商品で海の課題を解決するコンテストの「LOCAL FISH CAN GRANプリ」の決勝大会(11月15日、東京)にも出場が決まっており、開発商品と留萌の魅力を全国に発信する意欲を高めている。

担当の安田英晴教諭は「留萌の活性化につなげようと、課題研究の活動を楽しんでいる2人であり、東京でプレゼンテーションができる貴重な機会を生かしてほしい」と期待している。



(左から) 成田さん、岩崎さん